

兎島段ボール株式会社のSDGsへの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）について



SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された17のゴール・169のターゲットから構成されている国際目標です。

「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、世界中の企業や政府、地域に対して広く協力を要請しています

● FSC®-CoC認証（加工・流通過程の管理認証）の取得 (Forest Stewardship Council®)

FSC-CoC認証とは、認証森林から生産された木材（認証材）も元に製造された品を作り、それを流通させ、消費者に届けるという加工・流通過程の管理認証の一つで、世界の森林保全のサポートを進めていくことが目的とされています。
私たちは、全ての拠点工場にてこのFSC認証を摂取し、環境に配慮した段ボール製品を作ること、違法伐採を無くし世界中の環境保全活動の推進に協力しています。



●FSC認証登録情報

認証番号 SGSHK-COC-350161

ライセンス番号 FSC®C135863

認証対象製品 段ボール製品

認証範囲 MIX/Recycle100%

●摂取拠点

児島段ボール(株)本社、全工場

(株)コジマカートン（関連会社）

過疎化する世界中の林業を通して、地域の雇用と活性化を生み、地域経済を守ります。



FSC認証は植林事業の促成などで自然環境の保全に繋がり、ミネラル豊富な河川を生み出し海や陸の豊かさと生命を守ります
私達はFSC認証を通して使う責任と作る責任を意識して段ボール製造に取り組みます。
また、毎年実施される監査機関の審査と指導のもと、管理体制の強化を図ります。



● 電力会社のCO2削減プラン（ゼロエミッション）の適用

九州電力によるCO2削減プランを全工場に於いて採用し、CO2ゼロエミッション電源100%の調達・適用を実施致しました。
これにより、電気料金は上がりますが、使用した電気のCO2排出量は実質ゼロとなる為、CO2排出量の削減と地球温暖化対策の推進に繋がります。

ゼロエミッション電源とは…

原子力発電を含めた太陽光発電、風力発電、地熱発電、水力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギー由来の電源であり、気候変動問題の原因とされるCO2排出量実質ゼロとなります。

ゼロエミッションは国や自治体、電力会社などが主体となって推進しています。



● 環境を配慮した段ボール箱の設計

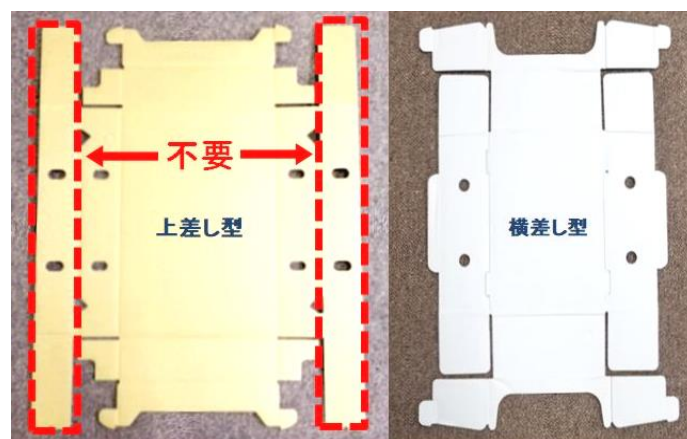
私達は、お客様と共に供給する段ボール箱の形状や材質などを改良し、社会環境に配慮した段ボールのご提案を行います。

製品例

エコサイドキーパー (Eco Side Keeper)

従来使用していたトマトや苺などの抜き箱の形状を改良し、段ボールの使用面積を従来品より20%程度低減させた段ボール箱を製作し、複数の農協様に採用していただいています。

使用する段ボールの消費量を減らす事により森林などの環境の保全、製造や輸送に伴うCO2排出の低減、コストダウンなど、社会環境に対してあらゆる効果が期待出来ます。

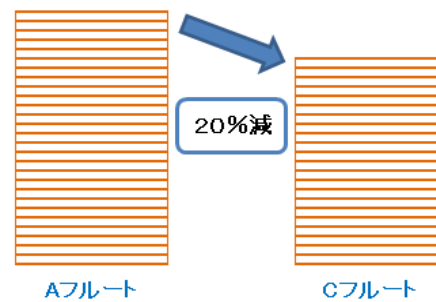
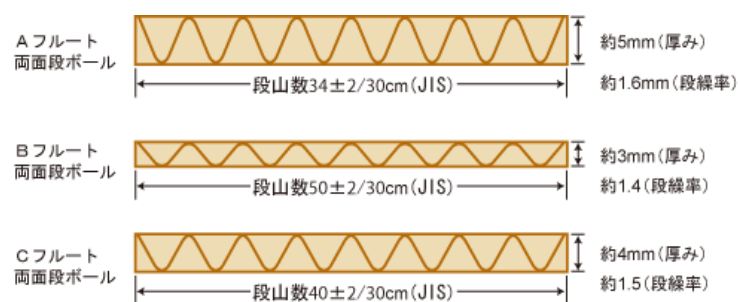


● Cフルーツ段ボールの提案

従来より日本で主流となっていた段ボールはAフルーツ（厚さ5mm）ですが、世界的にはCフルーツ段ボール（厚さ4mm）が主流です。

CフルーツはAフルーツに比べて厚さが1mm薄いものの、中芯の消費量を削減でき、輸送効率も20%程度向上します。

これにより省資源や輸送に伴うCO2排出量の削減にもなり、環境保全に繋がります。私達は、お客様の段ボールの使用目的を考慮しながら、今後もCフルーツ段ボールの提案と促進を行っていきます。



● SDGsの方針に沿った、環境への配慮とご提案

- ・ プラ、木材、アルミ、発泡スチロールなどの段ボール化
- ・ 輸送内容（内容物重量や輸送距離）に適した紙質構成のご提案
- ・ 段ボールの形状を改善し、使用面積を低減させるご提案
- ・ 段ボール様式の改善に伴う工数削減とコストダウンのご提案
- ・ お客様に於ける箱の組立てに対する生産性向上のご提案

● 段ボール箱組み立て機械（オートケーサー）の開発

私達はトマトや苺などの抜き箱を組み立てる機械を開発導入し、お客様にて大量の段ボール箱の組立てる労力を少しでも軽減していただける様な取組みと、機器開発に携わる技術教育を行っています。



● 産業廃棄物の管理と分別促進

私達は、生産工程にて発生する廃棄物はマニュアルに沿って分別し、ゴミが可能な限りリサイクル資源として活用出来る様な管理を行っています。
定められた分別は大変ですが、少しでも地球環境の保全に役立つ取り組みに対しての労力は惜しみません。

リサイクル資材・産業廃棄物 処分方法一覧						2019年 8月21日 安全衛生委員会
番号	処分品	処分の方法(保管場所)	処理業者	処理分類	注意点・備考	保管状況
1	段ボール	専用パレット	大本紙料 (収集はシンノウ紙源)	リサイクル資源	地巻紙・洋紙・雑誌古紙は不可 (合紙は可) シュレツダー～ペイラー圧縮の 処分が優先	
2	軟質ポリ・プラスチック (ポリエチレン・PPH・結集結等)	袋詰め ～ 専用鉄カゴ	シンノウ紙源	リサイクル資源		
3	金属・スクラップ (鉄・アルミ等)	専用鉄カゴ	シンノウ紙源	リサイクル資源		
4	空き缶・ペットボトル	袋詰め ～ 専用ラック	ハイクラスドリンク	リサイクル資源	工場外からの持込み不可	
5	排水汚泥(スラッジ) (油性廃棄物)	ドラム缶 ～ 産業廃棄場	西播磨環境整備	産業廃棄物	ドラム缶には内袋入れ要	
6	機・機洗い水	ドラム缶 ～ C棟裏	西播磨環境整備	産業廃棄物	ドラム缶には内袋入れ要	

● リサイクルマーク表示の推進

私達は、段ボールが分別排出をしやすい、高品質リサイクルを維持・促進するために国際リサイクルシンボルでもある『段ボールのリサイクルマーク』の表示を推進しています。

- 段ボールのリサイクルマークの効果として、
- ・ 消費者の分別排出が容易になります
 - ・ 市町村の分別収集が促進されます
 - ・ 異物の混入が避けられ、リサイクルの品質が向上します。



● 製品の保管や輸送に於ける段ボールパレットの活用

私達はリサイクル率が非常に高い段ボールパレットを自社製造し、在庫の保管やワンウェイの輸送に利用し、ご要望のあるお客様にも販売しています。
これにより、木材パレットやプラパレの使用率が低減し、森林資源の維持や脱プラスチック社会の観点から環境に配慮した製品供給を実現しています。



● 業務のペーパーレス化

私達は、全工場に於いて生産予定表や製造指図書、印刷仕様図面などの紙媒体をPCやタブレットの導入などによりペーパーレス化を行いました。

又、事務所に於いてもTeamsやサーバーの活用で情報の共有を行い、今後も紙の使用率と印刷に伴う電力使用率の低減に取り組めます。

※ペーパーレス化に伴う2017年度対比 60%低減



● 電力需給逼迫に対する節電の取り組み

私達は、地域電力の需給逼迫に対し、全事業所にて節電の取り組みを行なう事で限られた電力資源の維持継続を図る事に協力しています。

具体的取り組みとして、

- ・ 不要照明の消灯、及び間接照明等の間引き、トイレなどのこまめな消灯
- ・ O A 機器の待機電力削減、及び退社時の電源切断
- ・ 空調設定温度変更、及びブラインドなどによる日照遮断（空調効率UP）
- ・ なるべくエレベーター使用せず、階段を利用する。
- ・ 電力効率の向上を目的とした、生産設備やO A 機器などのメンテナンス
- ・ 節電を呼びかける張り紙や案内文を対象エリアに掲示



● 社用車にハイブリッド車の適用

私達は営業車を含めて40台以上の社用車を保有しており、その大半に於いてハイブリッド車を適用しております。

また、今後、切り替え購入する社用車は全てハイブリッド車や電気自動車を適用し、社用車のハイブリッド及び電気率の100%化を目標として、順次、低炭素化を推進していきます。



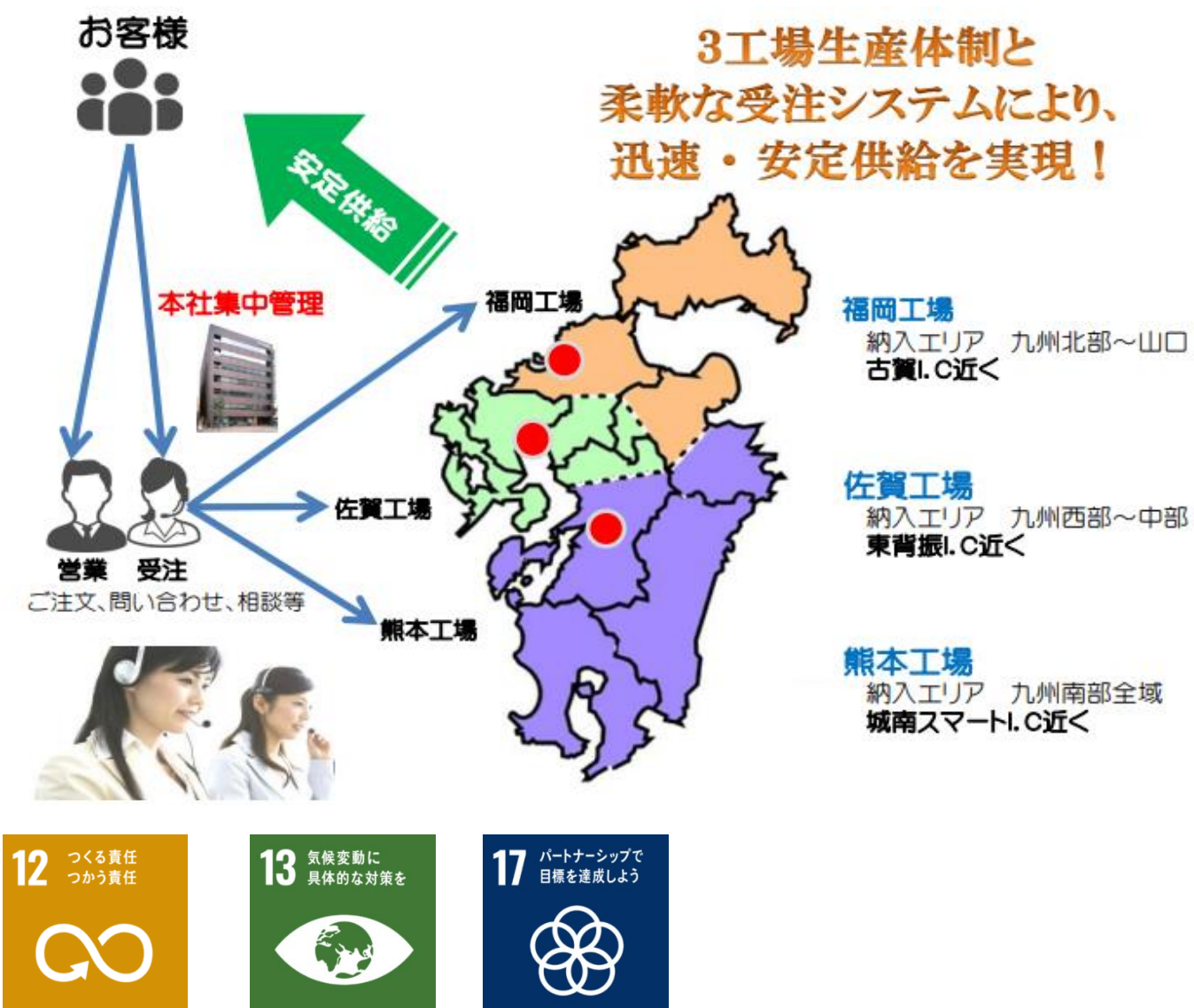
●パートナーシップ構築宣言

私達はサプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者が連携・共存共栄を進めることを目的とした、「パートナーシップ構築宣言」を2022年7月に行いました。
「パートナーシップ構築宣言」では、サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携や親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）の遵守を宣言しています。



●事業継続の管理体制による持続可能な段ボール製品の安定供給

私達は、九州管内に3箇所の工場を有し、全拠点工場は同等の生産設備を有しています。よって、自然災害などの有事の際でも3工場全面協力のもと安定した持続可能な段ボールの供給が可能です。
又、輸送に関しても10社以上の運送会社の協力により安心できる納品体制を整えています。



●災害時の段ボールベッドの供給

私達は、昨今、地球環境に変化に伴い毎年の様に見舞われる豪雨や地震などの自然災害時に於いて、避難所等に段ボールベッドの供給を迅速に行い、被災者の方々に安心感と健康の維持をお届けします。
今後も段ボールベッドを通して地域社会への貢献と平和の持続に尽くしていきます。

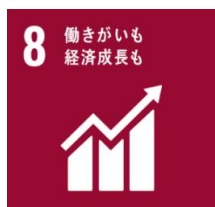
災害時於ける、段ボールベッドや間仕切りの供給実績			
供給年月	災害指定名	供給依頼自治体	供給品目
2016年4月	熊本地震	経済産業省	段ボールベッド及び段ボール間仕切り
2016年5月	熊本地震	熊本市	段ボール間仕切り用シート
2019年9月	九州北部豪雨	経済産業省	段ボールベッド及び段ボール間仕切り
2020年7月	九州豪雨	熊本県	段ボールベッド及び段ボール間仕切り
その他、災害時の支援要請のあった取引先様への提供			



●外国人技能実習生の採用とスキルアップに対する取組み

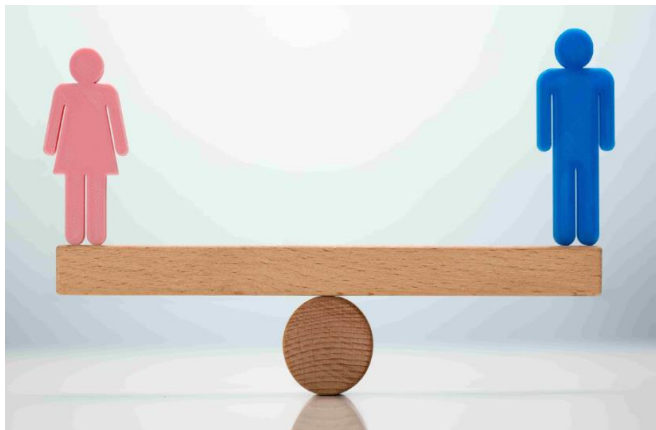


現在、ミャンマー連邦共和国より男女合わせて8名の技能実習生の方に技能教育を目的とした雇用を行っています。
言葉の壁はあるものの構内の注意書きなどは日本語とミャンマー語で表現しており日本語が読めない方でも、職場でスムーズに意味が理解出来る様な工夫もしています。
今後も外国人の技術教育と雇用を促進し、国籍や人種など関係なく安心して活動が出来る様な職場環境を作ります。



●ジェンダーへの取り組み（女性社員の積極的な採用、活躍推進・管理職）

私達の会社には事務職と製造現場がありますが「製造現場は女性には無理」などとは考えず、どの職場でも男性・女性に関わらず、希望すれば就業できるようにしています。
また、女性の妊娠・出産など、その時々の事情に合わせ働きやすい業務形態をとり、テレワークの導入などを含めて、出来る限り長く勤めていただける様、職場環境の工夫もしていく考えです。
当然ながら男女関係なく能力に応じた管理職を適用しており現在、課長以上の女性社員は4名います。
私達は今後も男女問わず意欲と能力を持った方が力を発揮できる職場づくりに取り組んでいきます。



●社員全員のメンタルヘルスのケアと心の相談窓口の設置

私達の会社では社員全員のメンタルヘルスのケアを目的とし、第三者機関に『こころの相談窓口』を設置・公開し、心の健康の保持増進を図る取り組みを行っています。
又、各部署の責任者も定期的にヒアリングを行ないながらメンタルヘルス不調の予防や、早期発見・早期対応に繋がる様、意識しています。



心の相談窓口



●定期的な地域社会との関わり

私達の会社では定期的に地域の福祉施設、幼稚園や小学校などに工場見学を行していただき、地域社会との関わりやコミュニケーションを深めています。
今後も、地域社会への定期貢献は続けていく予定です。



私達はSDG s の理念を基に、企業として社会に対して何が出来ののかを常に考え、今後もあらゆる取り組みを行っていきます。

